

外国語科学習指導案

廿日市市立七尾中学校

指導者 道面 和枝

1. 学年 第1学年

2. 単元名 Unit 2 「学校で」

3. 単元について

(1) 単元観

校庭でグリーン先生と出会った由美と健が校内を案内するという場面設定である。その際に、掲示してある写真や窓から見える外の建物について説明する。次に、マークにグリーン先生を紹介する場面へと続く。

前単元は自分と相手の名前や出身地を互いに言い合う内容であった。本単元では、身近なものや人(第三者)を紹介することで表現の幅が大きく広がると考えられる。そこで、基本的な表現(This is ~. He / She is ~. など)を正しく理解・定着させるとともに、それらを使って身の回りのものや人を話題にしたコミュニケーション活動(話す・書く活動)をさせたい。

(2) 生徒観

各クラスから4分の1ずつが集まって作られた少人数学級である。ほとんどの生徒が英語学習に前向きに取り組み、特に、話したり聞いたりする活動に興味を持ち積極的に参加する。教師の発問・質問にもよく反応する。しかし、文字を読むこと・書くことが苦手である生徒が数名おり、書く活動になると消極的になることもあるので、机間指導の際に支援している。

(3) 指導観

教科書本文(新出単語、基本文)の文字を見せる前に、単語や文を口頭練習(文字)とカード(文字)を使った繰り返し練習をする段階をスモールステップで設定し、教科書本文の文字を見た時の抵抗を少なくしている。さらに、少人数学級の良さを生かして、繰り返しの口頭練習では、できるだけ全員が数回ずつ言う機会を作り、理解を確かめながら進めるようにしている。

本単元では、This is a (my) ~. He / She is ~. などを用いて、身近な持ち物や人(友だちや家族、好きなタレント等)、ペットなどを紹介する英文を言わせたり書かせたりする活動を多く仕組むことで、生徒の実践的コミュニケーション能力を高めたい。その際、1文にとどまらず、学んだ表現(from ~, my / your, 形容詞など)を用いて、できるだけ多くの情報をつけ加えて相手に伝える態度を育てたい。

4. 単元の目標

This (That) is ~. (肯定文・疑問文と応答文), He / She is ~. の文の形・意味・用法を理解させる。

This (That) is ~. (肯定文・疑問文と応答文), He / She is ~. の文を使って、身近なものや人を紹介する文を話したり書いたりさせる。その際、学んだ表現を用いて積極的に表現させる。

I see. (あいづち) の用いられる場面を理解させた上で、使わせる。

文字や符号(特に it's や he's などの短縮形)を識別させる。

5. 単元の評価規準

	ア コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	イ 表現の能力	ウ 理解の能力	エ 言語や文化につ いての知識・理解
聞くこと			(正確さ) 強勢・イントネー ションなどを聞き分 けることができる。 聞いた内容につい て正しく理解する ことができる。	(言語の知識・理解) 単語の発音の違い など、語句や文を聞 き分ける知識を 身に付けている。
話すこと	(言語活動への取組 み) 話す活動において 学んだ表現を積極 的に使っている。 アワークなどの 活動に、協力して 積極的に取り組ん でいる。	(正確さ) 正しい強勢・イン トネーションなど を用いて話すこと ができる。 This is～.(肯定 文, 疑問文と応答 文), He/She is ～. の文を正しく使っ て話すことができ る。 (適切さ) 場面に応じて適切 に反応することが できる。		(言語の知識・理解) 単語の発音の違い など、語句や文を正 しく発音する知識 を身に付けている。 This is～.(肯定 文, 疑問文と応答 文), He/She is ～. の文の形・意味・ 用法が分かる。 I see～.(あいづち) の用いられる場面 を理解している。
読むこと		(正確さ) 正しい強勢・イン トネーションなど を用いて音読する ことができる。	(正確さ) 読んだ内容につい て正しく理解する ことができる。	(言語の知識・理解) 文字や符号(特に it's や he's などの 短縮形)を識別し て使い分ける知識 を身に付けてい る。
書くこと	(言語活動への取組 み) 書く活動において 学んだ表現を積極 的に使っている。 読みやすい字で書 いたり、意欲的に 書き直したりして いる。	(正確さ) This is～.(肯定 文, 疑問文と応答 文), He/She is ～. の文を正しく使っ て書くことができ る。		(言語の知識・理解) 文字や符号(特に it's や he's などの 短縮形)を識別し たり使い分ける知 識を身に付けてい る。 This is～.(肯定 文, 疑問文と応答 文), He/She is ～. の文の形・意味・ 用法が分かる。

7. 指導計画と評価

次	学 習 内 容	評 価					
		ア 関 心	イ 表 現	ウ 理 解	エ 知 識	主 な 評 価 規 準	評 価 方 法
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ This (That) is a (my/your) ~.の文の形 意味, 用法を理解する。 ・ This (That) is a (my/your) ~.の文を使 って, 身近なものについ て話す。 (1) 					<ul style="list-style-type: none"> エ This(That)is a(my/your) ~.の文の形, 意味, 用法が理 解できる。 イ This(That)is a(my/your) ~.の文を正しく使 って話すこ とができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動の観察 発表の観察
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新出単語, 語句の理解 ・ 本文 (1.校内を案内し よう) の内容を聞き取 り, 正しく理解する。 ・ 音読練習 ・ This (That) is a (my/your) ~.の文を正 しく書く。 (1) 					<ul style="list-style-type: none"> ウ 聞いたり読んだりした内容 について正しく理解するこ とができる。 イ 正しいイントネーションで 音読することができる。 エ This(That)is a(my/your) ~.の文を正しく書 くことがで きる。 	<ul style="list-style-type: none"> 後日音読チ ェック 後日小テス ト
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ Is this(that) a ~?の文 と応答文(Yes, it is. / No, it's not. It's a ~.) の形 意味, 用法を理解する ・ Is this(that) a ~?と応 答文を使って身近なもの について対話する (1) 					<ul style="list-style-type: none"> エ Is this(that) a ~?の文と応 答文 (Yes, it is. / No, it's not. It's a ~.) の形, 意味, 用法 が理解できる。 イ Is this(that) a ~?と応答文 を使って身近なものについ て対話することができ る。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動の観察 発表の観察
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新出単語・語句, 表現の 理解 ・ 本文 (2.あの建物は?) の内容を聞き取り, 正し く理解する。 ・ 音読練習 ・ Is this(that) a ~?の文 と応答文を正しく書く。 (1) 					<ul style="list-style-type: none"> ウ 聞いたり読んだりした内容 について正しく理解するこ とができる。 イ 正しいイントネーションで 音読することができる。 エ Is this(that) a ~?の文と 応答文を正しく書くことがで きる。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシー ト提出 後日音読チ ェック 後日小テス ト
3	<ul style="list-style-type: none"> ・ he と she の使い分けを 理解する。 ・ He/She is ~.の文の形, 意味, 用法を理解する。 ・ He/She is ~.の文を使っ て友だちを紹介する文を 言う, 書く。 (1) 					<ul style="list-style-type: none"> エ He/She is ~.の文の形, 意 味, 用法を理解する。 イ He/She is ~.の文を使っ て友だちを紹介する文を言っ たり書いたりすることができ る。 	<ul style="list-style-type: none"> 発表の観察 ワークシー ト提出
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学んだ表現を使って, 友 達の紹介を詳しく言っ たり書いたりする。 ・ 新出単語・語句, 表現の 理解 ・ 本文 (3.人を紹介しよ う) の内容を聞き取り, 正しく理解する。 ・ 音読練習 (1) < 本時 > 					<ul style="list-style-type: none"> ア 友だちの紹介をする時に, 学んだ表現を積極的に使おうと している。 イ He/She is ~.を正しく使っ て書くことができる。 ウ 聞いたり読んだりした内容 について正しく理解するこ とができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 発表の観察 ワークシー ト提出 活動の観察 ワークシー ト提出

8. 本時の展開

(1) 本時の目標

前時の簡単な友だちの紹介に，学んだ表現を使って情報をいくつかつけ加えて話すことができる。

友だちの紹介文を，文法に従って正しく書くことができる。

本文の内容を理解することができる。

(2) 観点別評価規準

[コミュニケーションへの関心・意欲・態度]友だちの紹介をする時に，学んだ表現をできるだけ多く使おうとしている。

[表現]友だちの紹介文を，He/She is～.を使って正しく書くことができる。

[理解]本文の内容の大切な部分を聞き取ることができる。

(3) 準備物

- ・CDプレーヤー，テープ，リズムマシン，ピクチャーカード，絵カード，単語カード
- ・ワークシート（Jazz Chants，友だち紹介のワークシート，教科書本文の内容理解ワークシート）

(4) 学習の展開

	ねらい・学習活動	指導上の留意点	評価規準	評価方法
導入	<p>単語や基本文の繰り返し練習を行ない，定着を図ると共に，話すこと・読むことへの意欲を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ ・Jazz Chants "No, it's not." "This is my friend." ・単語カード読み 	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな声が出るように指示を工夫する。 ・リズムに乗れるようにリズムマシンを使う。 ・Chants は本時の学習（教科書本文）とつながることを予告する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい強勢・リズムで言うことができる。 	<p>活動の観察 （座席表評価）</p>
前時の復習	<p>he と she の使い分けを復習する。 （単語レベル，文レベル）</p> <p>He/She is～. を使い，簡単な友だち紹介を発表する。</p> <p>A: This is ～. He/She's my friend. T/S: Hi, ～. B: This is ～. He/She's my friend. T/S: Hi, ～.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・he と she の使い分けができるか，多くの生徒に言わせて確かめる。 ・発表する時に，動作（this），アイコンタクト，名前をハッキリ言う，などを意識させる。 ・発表を聞いた後で"Hi, ～."と反応させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・he と she を正しく使い分けている。 ・正しい強勢・リズムで言うことができる。聞き手によく伝わるように話すことができる。 ・場面に応じて適切に反応することができる。 	<p>活動の観察 （座席表評価）</p> <p>発表の評価 （4ペア8人）</p>

<p>本時の言語活動</p>	<p>友だちを紹介する文に，学んだ表現を使って情報をつけ加える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ This is my friend ~ . + He/She is from ~ . He/She is a ~ fan. He/She is a cool boy (a cute girl) など。 <p>口頭練習 ペアで友だちの紹介データをもとに友だち紹介の文を言う練習をする。 (できるだけたくさん情報を伝える)</p> <p>友だち紹介を発表する。 (いくつか情報を付け加えて)</p> <p>友だち紹介の文を書く。 (いくつか情報をつけ加えて)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師がモデルを見せる。 ・ 既習の表現を思い出させる。 (I'm from Canada. I'm a Carp fan. a cool boy など) ・ じゅうぶん口頭練習を行なう。 ・ ペアでの練習時間をじゅうぶん与える。 ・ 評価規準と基準を告知する。 <p>< 評価規準 > できるだけたくさん情報を伝える。</p> <p>< 基準 > A : 3 文以上 B : 1 ~ 2 文 C : 0 文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 活動のしかたが分からない生徒に支援をする。 ・ 発表の良かった点を具体的に評価する。 ・ 各ペアの評価を告げる。 ・ 正しく書けているか机間指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ペアワークを協力して行なっている。 <p>学んだ表現をできるだけ多く使おうとしている。</p> <p>< 基準 > A : 3 文以上 B : 1 ~ 2 文 C : 0 文</p> <p>文法に従って，正しく書けているか。</p>	<p>活動の観察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 発表の評価 (4ペア8人) あとのペアは後日 ・ 友だち紹介ワークシート提出
<p>本文理解</p>	<p>教科書本文の内容理解の確認をし，定着を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 単語練習 ・ 内容理解 (ワークシート) ・ 音読 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内容理解のポイントを分かりやすく提示する。 ・ 基本的な発音，イントネーションについて指導する。 	<p>聞いたり読んだりした内容について正しく理解しているか。</p>	<p>活動の観察 (挙手発表)</p>
<p>まとめ</p>	<p>本時の学習を振り返ると共に，次の学習への見通しを持たせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後も，学んだ文に情報をつけ加えことを意識する。 ・ 友だち紹介を参考に，身近な人を紹介する文を言ったり書いたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 友だち紹介の発表で良かった点などを具体的に紹介しながら評価する。 ・ 本日の活動の良かった点を評価する。 ・ 家庭学習の指示と次時の予告を行う。 		